

# 東京放射線

2017年12月号

Vol.64 No.756



公益社団法人 東京都診療放射線技師会  
<http://www.tart.jp/>

卷頭言	職能ナシヨナリズムとの攻防	篠原健一
告示	平成30・31年度代議員選挙の立候補受付について	
新春のつどい		
会告	第75回日暮里塾ワンドメインセミナー	
お知らせ	第16回ウインターセミナー	
連報	平成29年度第12地区研修会	
載告	ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	
平成29年度 東京都功労者表彰		
平成28年度学術奨励賞 受賞報告		
～急性疾患アラカルト～ 第二部 血管系「上腸間膜動脈閉塞症」 岡本淳一		
会費減額制度のお知らせ		
研修会等申込書		
登録事項変更届		

# スローガン

チーム医療を推進し、  
国民及び世界に貢献する  
診療放射線技師の育成

2017年  
DEC  
CONTENTS

## 目 次

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 職能ナショナリズムとの攻防	会長 篠原健一 3
告示1 平成30・31年度代議員選挙の立候補受付について	4
会告1 「新春のつどい」のご案内	8
会告2 第75回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告3 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	10
会告4 第16回ウインターセミナー	学術教育委員会 11
会告5 第10回MRI集中講習会	学術教育委員会 12
会告6 平成29年度城西支部研修会	城西支部委員会 13
お知らせ1 平成29年度第12地区研修会	第12地区委員会 14
お知らせ2 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	15
平成29年度 東京都功労者表彰	16
平成28年度学術奨励賞 受賞報告	鳥居 純 18
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第二部 血管系「上腸間膜動脈閉塞症」	岡本淳一 23
こえ	
・第72回日暮里塾ワンコインセミナー「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」に参加して… 齋藤 淳 27	
・神田明神イベントに参加して… 秋田裕介 28	
パイプライン	
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田	29
・平成29年度第2回関東Angio研究会（第4回ステップアップセミナー）	30
平成29年度第6回理事会報告	31
平成29年東京放射線総目次	36
会費減額制度のお知らせ	40
研修会等申込書	42
登録事項変更届	43
平成29年度10月期会員動向	45
<hr/> <b>Column &amp; Information</b> <hr/>	
・学術講演会・研修会等の開催予定	34
・イエローケーキ	35

# 診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

# 卷頭言



## 職能ナショナリズムとの攻防

会長 篠原健一

「柔道整復師法の一部を改正する法律案」が、2017年6月8日に参議院常会に議員発議として提出された。法律案を提出する理由として『柔道整復師が、脱臼又は骨折が疑われる者に応急手当をしようとする場合において、その患部に、一定の条件の下に、撮影のためのエックス線の照射をすることを業として行うことができるようにする必要がある』とある。

結果的には、今回は審議未了ということで廃案になった。審議未了の理由として、本法案の提出は、①議員発議 ②少数議員提案 ③少数政党 ④法律案提出順の最下位（法律案（參法）193国会への提出総数110案のうち最下位の110番目）など幾多のことが挙げられるが、少なくとも国会に提出されたという事実がある。われわれは診療放射線技師職能団体として、このことを詳細に検討し対処しなければならない。

多くの、特に若手の会員の皆さまには寝耳に水といった感が強いと思うが、“柔道整復師にエックス線撮影を”という要求は、診療エックス線技師法が制定された昭和20年代からあり、少し根の深いところもある。2005年には特区制度の要望事項として「柔道整復師に必要な医師の同意を医師による遠隔診断で行うための要望」が出され、ここでは、遠隔診断と、エックス線撮影、MRIの医師による遠隔操作を求めていた。次いで、2007年12月に民主党選出の参議院議員により支援も表明された。次いで、2008年に民主党内に「統合医療を普及・促進する議員の会」も設立された。

以上のような動きには日本診療放射線技師会としても厚生労働省に強く反対表明をしていることはもちろんであるが、それぞれの職能の業務範囲拡大(?)というより職能ナショナリズムの政治家がらみの侵攻には相応の対処を怠ってはならないのである。

5年ほど前の巻頭言に、「ナショナリズム」と「パトリオッティズム」のことを書いた。某国が人工衛星という名目で長距離弾道ミサイルを発射して失敗した時期にあたり、PAC3（地対空誘導弾パトロット）が注目されていた。

パトリオッティズム（ペイトリオット＝愛国者）というのは、純粹な祖国愛・郷土愛といったきわめて自然に美しい言葉である。5年前にも「祖国を愛し、郷土を愛し、家族を愛するという当たり前のことが育まれなければ、隣人を愛し、他者を思いやる気持ちも歪んだものとなると思う。さらには、自分の職能を心から愛し、もって国民の医療・福祉の向上・発展に寄与する崇高な心がなければ、患者中心の医療、他職種との協働（チーム医療）も儘ならないと思う。」と書いた。

対してナショナリズムは、「国家主義」と訳されるように、侵略的、利己的な醜いものである。あえて職能+ナショナリズムという言葉を使ったのは、前述のように他職能の確立された教育養成制度、資格制度、職能倫理などに裏打ちされた国民の安全で安心な医療に対して、一方的な思惑から自らの職能範囲の一部に取り入れたいという、国家主義によく似た行動をとる職能が存在するからである。

しかしながら、このことを単に非難してばかりでは、われわれも職能ナショナリズムの裏返しととられかねず、何ら解決にはならない。真に信頼される職能を確立し、パトリオッティズムの精神で自らを高め研鑽し、あらゆる医療スタッフと互いの存在を認め合い高めあう信頼関係をより一層築いていかなければならない。

10月22日投開票の第48回衆院選で、診療放射線技師の候補が中国ブロック比例代表で立候補していたが、残念ながら次点となった。我が職能が置かれた境遇も踏まえながら、職能ナショナリズムの政治家がらみの侵攻に対して、いつまでもモグラたたきを続ける不毛さから脱却し、本当に大事な国民医療の向上のための議論を高めたいと思うのである。

# 告 示

## 公益社団法人東京都診療放射線技師会 平成30・31年度代議員選挙の立候補受付について

平成29年10月31日

公益社団法人東京都診療放射線技師会  
選挙管理委員会 委員長 大久保 智史

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款第12・13条ならびに代議員選出規定により、平成30・31年度の代議員の立候補受付を下記の通り行う。

### 記

選挙の実施内容：公益社団法人東京都診療放射線技師会の代議員および予備代議員

任 期：平成30年4月1日～32年3月31日

立 候 補 要 件：公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員であること。

定 数：別表1参照

立候補受付期間：平成29年12月1日（金）から12月25日（月）17時00分まで（必着）

立候補届提出先：公益社団法人東京都診療放射線技師会 選挙管理委員会 宛

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

投 票 方 法：代議員および予備代議員の選挙は、公益社団法人東京都診療放射線技師会選挙管理委員会の管理のもと、立候補者が所属する地区において郵送にて実施する。

選挙結果の告示：公益社団法人東京都診療放射線技師会の会誌で行う。

選 挙 の 日 時：平成30年2月28日（水）17時00分まで（必着）

その他の必要事項については、公益社団法人東京都診療放射線技師会のホームページ上に掲載する。

- 注 意 事 項：1) 立候補者は、所属する地区委員長に対しても、立候補する旨を届け出ること（地区メールアドレス：別表1参照）。
- 2) 立候補に必要な書類は、本誌6・7ページまたは公益社団法人東京都診療放射線技師会ホームページ上にある様式10・11にて提出すること。

以上

(別表1)

### 平成30・31年度代議員定数

地 区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス	地 区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス
第1地区	3	1	area01@tart.jp	第9地区	5	1	area09@tart.jp
第2地区	4	1	area02@tart.jp	第10地区	4	1	area10@tart.jp
第3地区	5	1	area03@tart.jp	第11地区	2	1	area11@tart.jp
第4地区	7	1	area04@tart.jp	第12地区	3	1	area12@tart.jp
第5地区	4	1	area05@tart.jp	第13地区	11	1	area13@tart.jp
第6地区	4	1	area06@tart.jp	第14地区	3	1	area14@tart.jp
第7地区	5	1	area07@tart.jp	第15地区	4	1	area15@tart.jp
第8地区	7	1	area08@tart.jp	第16地区	2	1	area16@tart.jp

※2017年9月30日現在の会員数（会員動向）を元にした代議員数

選挙管理委員会（2017年10月2日承認）

# 公益社団法人東京都診療放射線技師会 代議員及び予備代議員選出規程

## (目的)

第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会定款（以下、「定款」という。）第13条に定める代議員及び予備代議員（以下、「代議員等」という。）選出のための選挙について規定する。

## (選挙権)

第2条 定款第5条第1号により正会員として登録されたものは、この規程に定める選出につき選挙権を有する。

## (被選挙権)

第3条 定款第13条第2項に定める代議員等に立候補する者は、正会員としての資格を有する者とする。  
2 立候補する者は、当該年度の会費の完納者であること。

## (立候補届)

第4条 代議員等に立候補する者は、地区委員長に申し出を行い、立候補届【様式10】、【様式11】に記載し、期日までに選挙管理委員会に届けなければならない。

## (代議員等の選出)

第5条 代議員等の選出は2年に一度、1月から3月に行う。  
2 代議員等の選出は、以下の各号による。  
(1) 候補者が定数または定数に満たない場合は、無投票当選とする。  
(2) 候補者が定数を超えた場合は、投票を行う。投票は、定数内連記投票とする。  
(3) 当選は、定数内で白票を除く有効投票の上位得票順とする。  
(4) 得票が同数の場合は、抽選等にて決定する。

## (代議員及び予備代議員選挙の投票、開票及び立会人)

第6条 代議員等の選挙は、郵送またはそれに代わる手段にて投票を行う。  
2 選挙管理委員会は投票締め切り後、立会人の立会いのもとを開票する。  
3 立会人は、正会員の中から、選挙管理委員会が選任する。

## (選挙結果の公表)

第7条 代議員等の選挙の結果については、選挙管理委員会が速やかに公表する。

## (異議申立)

第8条 代議員等選挙の効力に対し、不服がある選挙人または候補者は、選挙管理委員会に異議を申し立てることができる。  
2 异議申し立ての受付は、開票結果発表日から1週間以内とする。  
3 异議申し立てに対しては、選挙管理委員会で協議する。

## (代議員証の発行)

第9条 選挙管理委員会は、異議申し立て期間終了後速やかに代議員証を発行する。

## (改廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議によるものとする。

## 附 則

1 この規程は、平成29年6月18日から施行する。

[様式 10]

## 公益社団法人東京都診療放射線技師会

### 代議員選挙 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会  
選挙管理委員長 殿

私は、平成\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会代議員選挙に立候補いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 \_\_\_\_\_ 地区

氏 名（自署）：\_\_\_\_\_ 印

生年月日：昭 和・平 成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（\_\_\_\_\_ 歳）

勤務先名：\_\_\_\_\_

自宅住所：〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電 話：\_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

以上

選挙管理委員会受理

年 月 日

選挙管理委員長

印

## 公益社団法人東京都診療放射線技師会

### 予備代議員選挙 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会  
選挙管理委員長 殿

私は、平成\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会予備代議員選挙に立候補いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 \_\_\_\_\_ 地区

氏 名（自署）：\_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

生年月日：昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（\_\_\_\_\_ 歳）

勤務先名：\_\_\_\_\_

自宅住所：〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電 話：\_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

以上

選挙管理委員会受理

年 月 日

選挙管理委員長

印

# 会 告

## 1

### 「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交説を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

開催日時：平成30年1月12日（金）18時30分～20時00分

（受付開始18時00分より）

開催場所：「ホテルラングウッド」 2階 凤凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交 通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次 第：1) 開会の辞  
2) 会長挨拶  
3) 来賓挨拶  
4) 乾杯  
5) 懇親（名刺交換）  
6) 閉会の辞

会 費：6,000円

新卒かつ新入会員\*の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## 第75回日暮里塾ワンコインセミナー～入会促進セミナー～ 「学術教育が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術教育が選んだ発表演題」です。平成29年度に発表された演題の中から興味深いものを厳選し、再度発表していただきます。

学会に参加できなかった方や参加していたが聞けなかったという方、再度聞きたい方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

さらに毎年この演題群の中から、学術奨励賞、新人奨励賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力をお願い致します。

今回は入会促進セミナーということで参加費無料となっております。

### ～発表演題～

1. Adamkiewicz動脈の非造影MRA描出の試み 昭和大学病院 住近 啓希
2. 下肢静脈造影CT検査におけるMonoenergetic imagingを使用した低keV画像の有用性の検討 東邦大学医療センター大森病院 小池 美香
3. 胸部撮影における散乱線補正処理の有用性の検討 杏林大学医学部付属病院 白川 佑也
4. Quantitative measurement法 (QM法) を用いた急性期圧迫骨折における座位側面撮影の有用性の検討 社会医療法人財団大和会 東大和病院 高橋 雄大
5. MRI撮像時に問診を通り抜け磁性体が持ち込まれた2症例 医療法人社団明生会 セントラル病院 長尾 一
6. 塩化タリウム心筋シンチプロトコールの検討 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院 藤田 賢一
7. 人工膝関節立位正面像の描出能向上を目的とした補助具の開発と使用経験 医療法人社団永生会 永生病院 平本 健一
8. 頸骨弓軸位斜位像の有用性の検討 河北総合病院 大地 直之
9. 小児一般撮影における放射線被ばく低減の取り組み～患児の再撮影減少に向けて～ 東京都立小児総合医療センター 篠原由希奈

### 記

日 時：平成30年1月18日（木）18時30分～20時30分  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : [gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

# 会 告

## 3

### 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会においての予定は下記の通りです。

#### 記

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者： 5,000円、静脈注腸受講者： 3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

#### 第5回

日 時：平成30年1月20日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年1月21日（日）8時30分～17時30分

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス

募 集 人 数：100名

#### 第6回（追加開催）

日 時：平成30年1月21日（日）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年2月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

募 集 人 数：30名

以上

#### 第7回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

募 集 人 数：30名

## 第16回ウインターセミナー テーマ「脳腫瘍を理解する」

日常業務のCTやMRIの検査部位で頭部は最も多く検査していますが、脳腫瘍に関しては知識不足は否めないと思われます。

今回はCTやMRIを中心に脳腫瘍の画像の特徴や検査時の注意点を講演していただきます。

また、ショートレクチャーでは専門従事者以外の方に向けた、先進技術の現状紹介を予定しています。  
多くの方のご参加をお待ちしております。

### ～ プログラム ～

15:00～15:20	脳腫瘍とは…発生機序/症状(性質)/種類…
15:20～15:50	脳腫瘍におけるCT検査・画像
16:05～16:50	ショートレクチャー～最新検査・治療～ ・脳methionine PET/CT検査 ・治療の立場から ・IVR
17:00～17:30	脳腫瘍におけるMRI検査・画像

### 記

日 時：平成30年1月27日（土）15時00分～17時30分

会 場：東京医科大学病院 教育研究棟3階第1講堂

ア クセス：JR新宿駅西口下車 徒歩約15分

都営大江戸線 都庁駅前下車 徒歩約7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 徒歩約1分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# 会 告

## 5

### 第10回MRI集中講習会

第10回MRI集中講習会を開催致します。各講義では専門試験問題の解説も含めて行います。

講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します（参加者には無料配布）。多くの方のご参加をお待ちしております。

#### ～ プログラム ～

14:00～15:15 原理（基礎）および安全管理（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

15:20～16:20 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋順士 氏

16:30～17:30 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中孝志 氏

17:30～18:30 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

#### 記

日 時：平成30年2月3日（土）14時00分～18時30分（受付開始13時30分）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：[gakujitu@tart.jp](mailto:gakujitu@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 平成29年度 城西支部研修会

### テーマ 「診療放射線研究者の為の統計解析～初步の初步～」

講師：富士フィルムRIファーマ株式会社 学術企画部 高徳 桂三 氏

診断法研究の重要な目的は、検査法の正確さの評価と検査法間の比較です。

診断法での重要な進展・改良があった場合、その有用性評価のための統計解析を適切に理解し実施することが重要となります。

今回は、診療放射線研究者としての統計リテラシーを高めるために簡単に正しくデータ解析ができるようエクセルを用いた統計教育を行います。

1. 学会発表、論文執筆に役立つ統計手法を理解する
2. 明日から現場でいかせる
3. 習うより慣れる、今日をきっかけに

以上の3点を目標に説明していただきます。PC持ち込みではなくても大丈夫です。

#### 記

日 時：平成30年2月7日（水）19時00分～20時30分（18時30分受付）

場 所：板橋区立グリーンホール 5階504会議室

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

ア クセス：東武東上線 大山駅下車 北口より徒歩約5分

都営三田線 板橋区役所前駅下車 A3出口より徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員\*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会

申し込み先は“城西支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名

問い合わせ：城西支部委員会

E-Mail：[shibu\\_jyousai@tart.jp](mailto:shibu_jyousai@tart.jp)

第3地区委員長 平瀬繁男

第9地区委員長 市川篤志

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

\* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

# お知らせ

## 1

### 平成29年度 第12地区研修会

テーマ「救急（夜勤帯）における造影軸幹CT撮影のコツ  
～もうひとりでも怖くない～」

講 師：日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志 技師

今回の第12地区研修会のテーマは「救急における造影軸幹CT撮影」です。特に夜勤帯での造影軸幹CT撮影は、日勤帯でCTを担当していない診療放射線技師にとっては緊張するのではないか。造影剤はどの種類？どのくらいの量？注入速度は？撮影タイミングは？撮影回数は？撮影範囲は？など即座に判断しなければなりません。また、撮影した画像について当直医師から質問されたことがありますか？そんな悩みを解決してくれるご講演をCTのエキスパート技師にしていただきます。

新人技師はもちろんベテラン技師も再確認のために、ぜひご参加ください。お待ちしております。

#### 記

日 時：平成30年1月24日（水）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：佐々総合病院 三号館4階ホール

ア クセス：西武新宿線 田無駅下車 北口より徒歩約3分

受 講 料：診療放射線技師500円（当日徴収）

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第12地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 鈴木 晋 E-Mail：[areal2@tart.jp](mailto:areal2@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

## ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

本会ではソウル特別市放射線士会との学術交流協定に基づき、下記日程の学術大会で研究発表を行う会員に対して、渡航費および滞在費の一部を助成します。この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学会名	2018年ソウル特別市放射線士会学術大会
日 時	2018年3月16日（金）～18日（日）
会 場	大韓民国ソウル市・COEX ソウル特別市 江南区 三成洞159貿易センターCOEX

### 記

#### 【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします。
- ② スライドもすべて英語表記とします。
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします（期限は演題採用決定後通知）。

#### 【2】応募資格

公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員で、平成29年度会費完納者に限ります。

#### 【3】募集演題数：2題

応募演題の中から学術教育委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

#### 【4】応募方法および期限

下記2種類の書類を平成29年12月27日（水）までにメールにて送付してください。

- ① ソウル特別市放射線士会学術大会参加費用等助成申請書  
　　本会ホームページからダウンロード（Wordファイル）し、押印の上、PDFファイルで保存してください。
- ② 応募演題  
　　図表なしで目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ1枚以内で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

送付先（お問い合わせ）アドレス：tart@tart.jp

（メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください）

#### 【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

以上

# 東京都功労者表彰



医療法人社団 時正会 佐々総合病院 放射線科 科長

いとう しゅんいち  
**伊藤 俊一**

昭和34年11月29日生（58歳）

## 経歴

昭和54年4月	城西放射線技術専門学校	入学
昭和58年3月	同	卒業

## 職歴

昭和53年10月～現在	佐々病院（現 佐々総合病院）	入職
-------------	----------------	----

## 団体歴

平成13年4月～平成19年3月	社団法人東京都放射線技師会 理事（第12地区委員長）
平成19年4月～現在	社団法人東京都放射線技師会 地区委員（第12地区）

## 賞罰歴

平成11年2月	永年勤続表彰：東京都田無市
平成21年5月	小野賞：社団法人東京都放射線技師会
平成26年6月	永年勤続表彰（30年）：公益社団法人日本診療放射線技師会

# 東京都功労者表彰を受けて

伊藤俊一

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、平成29年10月2日に都庁舎大会議場において「東京都功労者表彰」を小池百合子東京都知事より受賞致しました。受賞に際し、篠原健一会長はじめ各理事、表彰委員から推薦をいただいたことに心から感謝申し上げます。また審査手続きに関し高野修彰理事にはお忙しい中、多々お世話になり厚くお礼申し上げます。

私は昭和53年に佐々病院（現 佐々総合病院）に入職し、夜間部の診療放射線技師養成専門学校に通いながら昼間は放射線科助手として働きはじめ、職場を変わることなく現在に至っております。入職後、総合病院と名称が変わり頭部専用CTの導入からはじまり全身MDCTへ、MRIやDSAの導入、そしてフィルムレス化と放射線科にも大きな変化がありました。近隣の施設で新規導入された装置を見学させていただく機会や、使用経験などを聞きできる地区研修会などを開催してくださる東京都診療放射線技師会には大変助けていただきました。平成13年から6年間の間、公益法人に移行する時期に理事及び第12地区委員長を拝命し活動を致しましたが、地区委員である現在でも多摩支部研修会や健康フェスティバル、地区活動などに関わることができとても幸せなことだと感じております。そして何よりも技師会の諸先輩方々とつながりを持ち楽しくも貴重な時間を過ごせたことが、長きにわたる勤続の支えとなりこのような受賞に至ったとも考えております。

公益社団法人東京都診療放射線技師会の益々のご発展と、会員皆さまのご活躍を祈念しつつお礼の言葉に代えさせていただきます。

## 伊藤俊一様の東京都功労者表彰の祝辞

会長 篠原健一

このたびの平成29年度東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された伊藤俊一様が受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申しあげます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましても、まことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。

伊藤様は昭和53年に佐々病院（現 医療法人社団時生会 佐々総合病院）に勤労学生として入職、昭和58年より診療放射線技師免許を取得し以来30年以上の永きにわたりこの道一筋に奉職されました。そして地域の救急医療充実を目指す病院のメンバーとして、患者中心の医療に取り組まれました。

病院組織の法人化や総合病院化、地域における病院へのニーズの変化に対応し、現在は診療放射線技師13名の長として管理業務とともに現場での撮影業務をこなし、病院の運営会議や各種委員会にも参画し、長年の経験や実績を活かして活動しておられます。

本会においては、平成13年4月から平成19年3月まで理事（第12地区委員長）、平成19年4月から現在まで第12地区委員に就任しております。

地区研修会の参加者を増やす活動のほか、健康フェスティバルなど地域住民の健康増進維持活動にも積極的に参加され、医療被ばくに関する相談や各種検査の説明、エコーによる骨密度測定等を行っていただきました。理事退任後も地区委員として理事をサポートし、地区活動に貢献されております。

このたびの伊藤様の受賞は、診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、伊藤様の益々のご健勝をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。

平成28年度  
学術奨励賞 受賞報告

散乱X線補正処理を用いた  
胸部ポータブル撮影における適正EI値の基礎検討



○鳥居 純

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 放射線技術部放射線診断技術室

【背景】

当院における胸部ポータブル撮影では、散乱線除去用グリッド（以下：Grid）を使用し撮影を行っており、その際の適正な線量を把握する指標として、Exposure Index（以下：EI値）を使用している。IEC62494-1で規定されているEIの計算フローを示す（Fig.1）。

EIの計算フロー上に、Relevant Image RegionとValue of Interestの値を使用するが、それらの値は装置や撮影部位等により異なるため、すべてを統一することは困難であると考えられている。しかし各装置におけるEI算出方法の特徴を理解することで、線量指標として使用することが可能であると考える。



Fig.1 IEC62494-1 で規定されているEIの計算フロー

Intelligent grid(以下:IG)は、Gridを使用せずに撮影した画像から、散乱線による画質の劣化を改善する画像処理である。IG処理の基本原理を示す(Fig.2)。

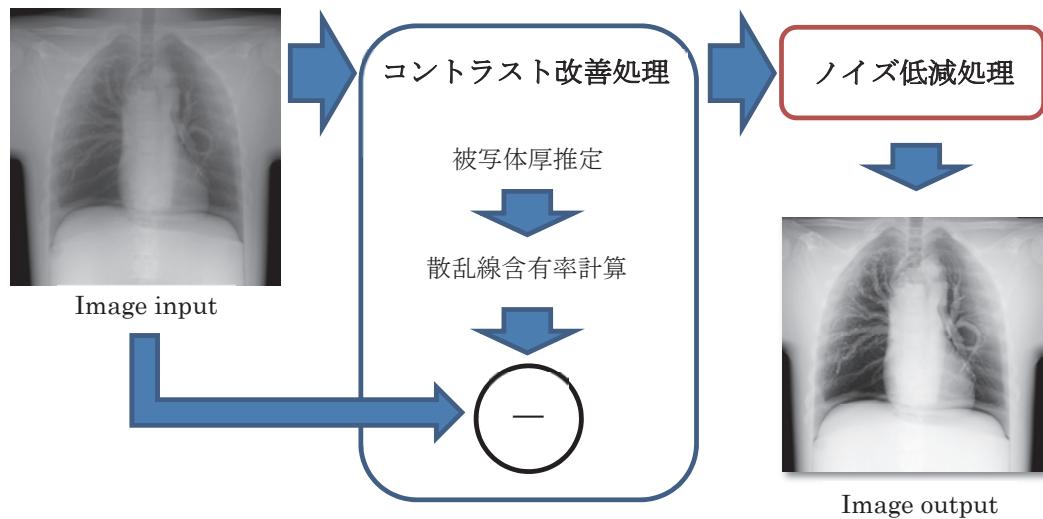


Fig.2 IG処理の基本原理

胸部ポータブル撮影において、体格等によって撮影条件を調整する必要があり、当院ではメーカー参考EI値(以下:TI値)になるよう撮影条件を調整している。しかしIG処理時におけるTI値は明記されていない。

\*胸部X線撮影画像におけるGrid使用時のTI値=250であり、この値は複数の施設から画像データを収集・極端なEI値の画像や通常とは異なる画像のデータを除き、残った画像のEI値の平均値より算出されている。

### 【目的】

IG処理画像におけるGrid使用画像と同等のコントラストを維持する撮影条件を求め、その際のEI値を把握する。

### 【使用機器】

- ・ポータブル装置: Sirius Star Mobile(日立)
- ・無線FPD装置(コニカミノルタ)
- ・MS-X レイ・グリッド(三田屋製作所): 集束距離100 cm (6:1)
- ・画像処理ソフト: ImageJ
- ・胸部ファントム(京都科学)

### 【方法】

当院における胸部ポータブル撮影での条件(以下:①)にて撮影した胸部ファントム画像を基準とし、撮影条件を変化させIG処理をした(以下:②)胸部ファントム画像との比較を行った。撮影条件を下記に示す(Table 1)。

Table 1 撮影条件

	①	②
管電圧 (kV)	90	70・80・90・100
mAs	2	1・2・3.2・4
散乱線除去方法	Grid (+), グリッド比6:1	IG処理 (+), グリッド比6:1
撮影距離 (cm)	100	100

i) 胸部ファントム画像における腹部の画素値を基準とし、肺野・気管・心臓・縦隔部 (Fig.3) のContrast Noise Ratio (以下 : CNR) をImageJを使用して計測し比較した。

CNRの式は、

$$CNR = \frac{\text{Mean}_{\text{lung}} - \text{Mean}_{\text{abd}}}{\sqrt{\text{SD}_{\text{abd}}^2}}^2$$

とした。

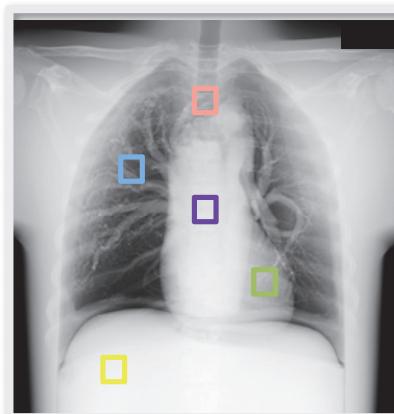


Fig.3 測定位置を示した胸部ファントム画像

ii) ①・②の条件下にて5回撮影を行い、各々における平均EI値を計測した。EI値はROIを一定とし、撮影後モニターに表示される値とした (Fig.4)。それらの値を基に比較した。

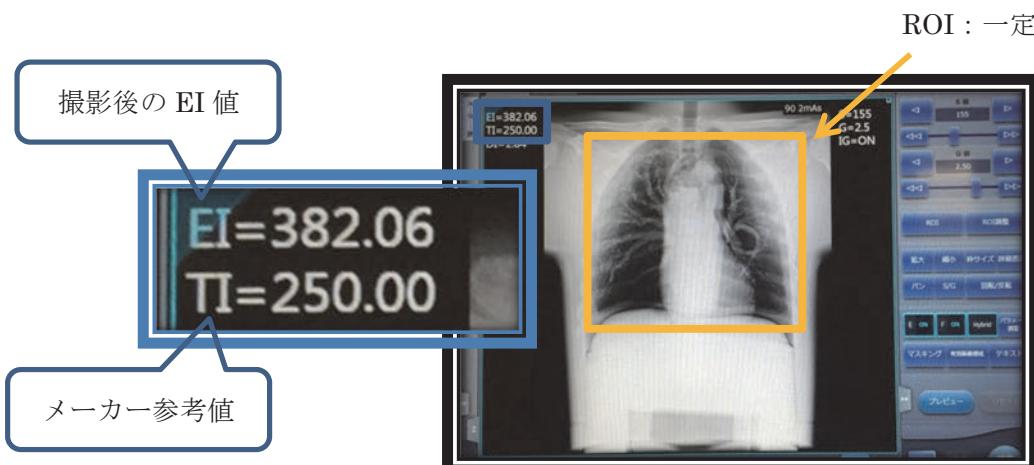


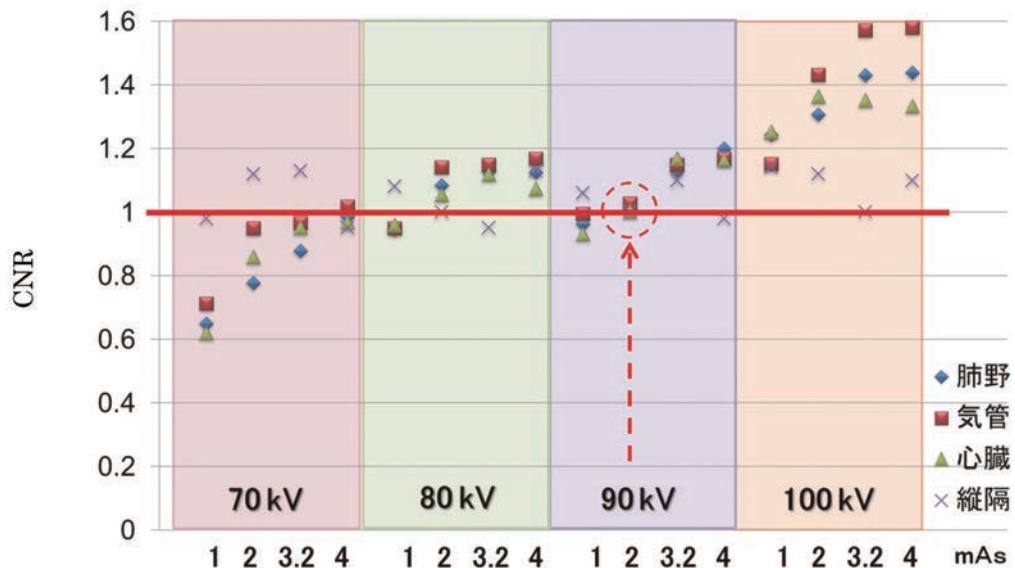
Fig.4 EI値計測方法

## 【結果】

各撮影条件におけるCNRを示す(Table 2)。

(\*②のCNRは①を基準とし正規化を行った値とした。)

Table 2 CNR結果



肺野・気管・心臓においては各管電圧においてmAsが高くなるにつれ、CNRは向上したが、縦隔においては、CNRに大きな変化は認められなかった。①と同等のCNRは90 kV, 2 mAsであった。

各撮影条件におけるEI値を示す(Table 3)。

Table 3 EI値結果

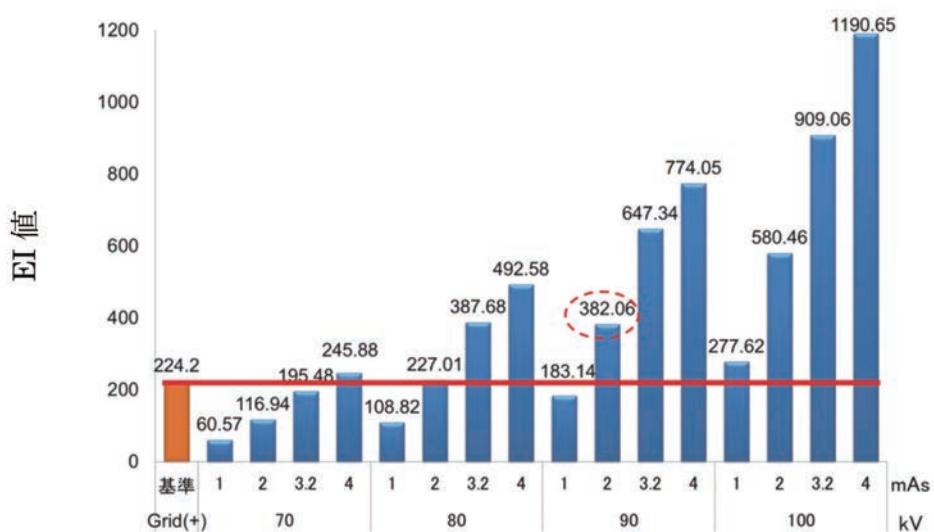


Table 2で求められた同等のコントラストを維持する条件下(90 kV, 2 mAs)でのEI値は、382.06であった。

## 【考察】

縦隔は腹部同様信号差が少なく、コントラストは小さくなる。また吸収が大きい部位であり、ノイズの値が大きな値となる。そのため縦隔においてCNRが非常に小さな値となり、正規化した際、大きな変化が認められなかつたと考えられる。

①と最も同等のCNRであった90 kV, 2 mAs, IG処理(+)のEI値は、約1.7倍であった。背景にも示したが、IG処理の基本原理として入力画像から散乱線量を計算し、差分することで画像が作成される。しかし、そのコントラスト改善処理において減算されるX線は主に散乱線である。Grid使用時に減算されるX線は、散乱線だけでなく一次X線もカットされる。そのため一次X線量が計算されておらず、その差分が生じたと考えられる。

## 【結語】

90 kV, 2 mAs, Grid(+)、EI値 = 224.2と同等のコントラストを維持した条件は、90 kV, 2 mAs, IG(+)、EI値 = 382.06であった。胸部ファントム画像を示す(Fig.5)。

現状Gridを使用し、胸部X線撮影ではEI値 = 250を目標にしていたが、同等のコントラストを維持した条件下におけるIG処理時のEI値は今までの数値とは異なることが確認できた。今回は胸部ファントムによる検証ではあるが、今後臨床や複数の施設にて評価することで、IG処理時における適切なEI値 = TI値を算出したい。

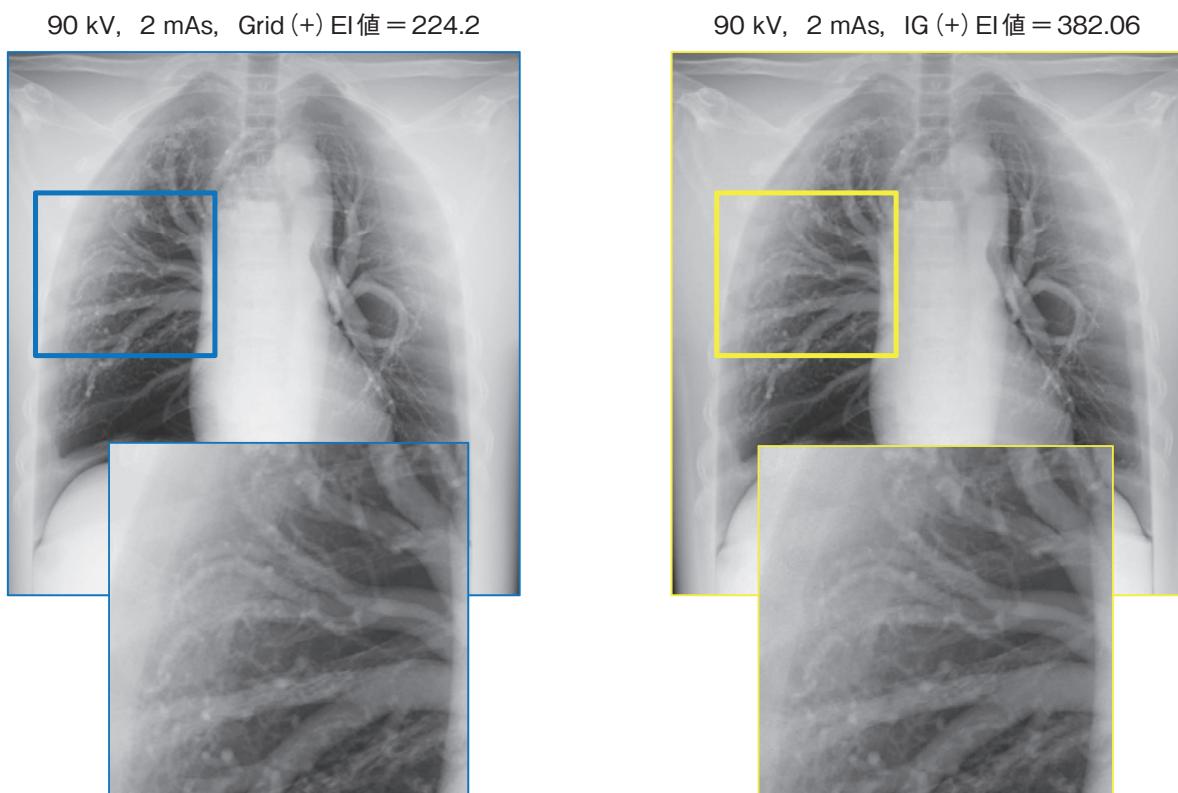


Fig.5 各条件下における胸部ファントム画像

# 第二部 血管系

## 上腸間膜動脈閉塞症

東京医科大学病院 岡本 淳一

サマーセミナーやウィンターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載しています。第七回目は、上腸間膜動脈閉塞症について解説致します。

### 1 はじめに

上腸間膜動脈閉塞症は上腸間膜動脈が何らかの原因で閉塞し腸管虚血に至る疾患で、急性腹症のカテゴリーの中での発症率は1%程度とまれな疾患である。しかしながら死亡率は約65%、腸管壊死を伴う進行例においては約85%と急性腹症の中でも非常に高い死亡率となっている。またこの疾患に代表される虚血性腸間膜疾患は「時間との戦い」という側面も大きいことから、まれな疾患ではあるが知識を確実に持っておき、迅速な対応をとる必要がある。本稿では診療放射線技師をとりまく「技師読影・一次読影」という命題にも意識を置きながら、上記疾患についての病態、検査、治療の概要を述べたいと思う。

### 2 上腸間膜動脈の解剖・生理

上腸間膜動脈（SMA）は十二指腸上部から横行結腸の三分の二までの腸管と臍臓を栄養している腹部血管の一つである。腹部大動脈から第1腰椎付近の高さで前方に開口、臍部の背側をくぐった後、前方に出て十二指腸水平部の腹側を越えて下行し各腸間膜に入る（図1、表1）。ただし末梢の各器官への分岐は、さまざまなパターンが存在するので注意が必要である。例えば、右肝動脈がSMAから分岐したり、右結腸動脈が欠如していたりする。

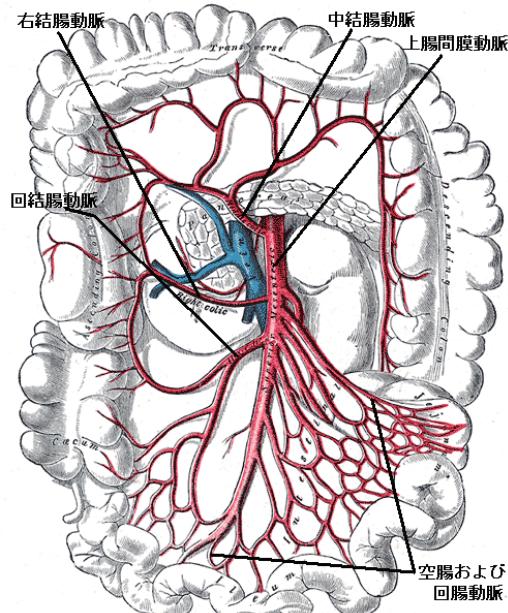


図1 上腸間膜動脈の解剖

表1 上腸間膜動脈の分枝と栄養される器官

SMAの枝	栄養される器官
下脾十二指腸動脈	脾の一部・十二指腸の下行部・下部
中結腸動脈	横行結腸
右結腸動脈	上行結腸
回腸動脈	回腸
空腸動脈	空腸
回結腸動脈	SMAの終枝で回腸と盲腸・虫垂等を栄養

### 3 上腸間膜動脈閉塞症の分類・原因

上腸間膜動脈閉塞症は塞栓症と血栓症に分類することができる。塞栓症は主に心原性に発生した

血栓がSMAを閉塞させる病態で、SMAの開口部より3cmから8cm末梢の中結腸動脈を分岐した後に閉塞することが多い。つまり中結腸動脈が栄養する横行結腸および空腸の一部は比較的侵されずすむケースが多い。心房細動（AF）、弁膜症などをRisk Factorとして持っていることが多く、これらの既往は症状や採血データと併せて検査の前情報として確認しておく必要がある事項の一つである。

血栓症はSMAの血管内膜が動脈硬化を基礎としたplaquerによって変性し閉塞を来す病態である。また急性大動脈解離に伴い、偽腔からSMAが開口している状態になるとSMAへの血流・流入圧が低下し、血栓閉塞を引き起こすケースもあり、大血管系疾患の合併症としても注意が必要である。血栓症はSMAの起始部に閉塞を来すことが多く腸管の広範な領域に影響を及ぼす可能性が高いが、比較的症状が軽く進行が緩徐で側副血行路が発達するまでの時間的猶予があることから、慢性期の経過をたどることが多い。

腸管虚血を来す病態の頻度としては閉塞症が上腸間膜虚血全体の約50%、血栓症は15%～25%。その他、急性期の腸間膜虚血を来す病態としてはNOMI（Non Occlusive Mesenteric Ischemia：非閉塞性腸管虚血）や虚血性大腸炎等が挙げられる。NOMIは器質的な動脈閉塞を伴わない腸管虚血を指し、心不全やショックなど、全身が低還流状態になった状態から脳や心臓などの重要臓器への血流を維持するために腸間膜動脈末梢が攣縮（SPASM）を起こすことが原因とされていて、うつ血性心不全、体外循環使用、ショック状態、血管作用薬使用（ジギタリス、 $\alpha$ アドレナリン作動物質、バゾプレッシン）などが関連している。

## 4 上腸間膜動脈閉塞症の症状

症状はいわゆる急性腹症で見られる腹痛、嘔気、嘔吐、下痢、腹部膨満感等と相違無い。ただし初期においては、通常の鎮痛剤（NSAIDsやソセゴン等のオピオイド）を使用しても無効な激しい痛みを伴いながらも、筋性防御等の腹膜刺激症状が出現しないという特徴がある。これは腸管の虚血はあるが、腹膜炎や腸管壊死を來していない状態であると考えられ、この段階での早期診断・早期

治療が求められる。進行した病態になると筋性防御が出現し、腹膜炎・腸管壊死、麻痺性イレウスを来す。

## 5 血液データ

炎症性変化を示す項目としてWBC、CRPの上昇が挙げられる。また代謝性アシドーシス、消化管筋層の酵素逸脱を示すものとしてCK、LDH、ASTの上昇、さらに脱水が進行することによるHct、BUN、クレアチニンの上昇が起り得る。上記の項目の変動は比較的病期が進行していないと反応しないケースも多いので注意が必要ではあるが、最低限検査施行前に確認しておくべきである。

## 6 診断・治療

診断および治療の流れとしては、病歴聴取や腹部所見、全身状態の把握を行った上で、血液検査、単純・造影CTを施行する。造影CTは必ず動脈相を含めた2相を撮影し、動脈相にてSMAへの血流および血栓の有無を確認する。また単純CTは早期に血栓を高吸収に描出することがあり、有用なケースもある。遅延相では腸管壊死や他病変の鑑別に加え、腸管の造影剤の濃染を観察する。また本来SMAの内径より大きいはずのSMVが流入血流減少の影響を受けて縮小するSmaller SMV signを認めることがある（図2）。

CT上で腸管壊死がない場合、血管造影にてSMAの血流を確認し血栓を思わせる造影不良と判断された際は血栓溶解療法の適応となる。CTや血管造影上で腸管壊死を伴う所見がある場合



図2 Smaller SMV sign

は、血管造影・血栓溶解療法の適応にはならず、開腹手術を早期に行う必要がある。その他、症状や病態が比較的軽度と判断された場合は経口抗凝固療法が検討されるが、エビデンスは確立されていない。

## 7 症例

〈Case1〉 51歳男性、日中の仕事中に急激な激しい腹痛を訴え当院ERに救急搬送。心房細動の既往で当院循環器内科にて投薬治療中の患者であった。また激しい腹痛とは不釣合に腹部の触診所見は乏しいとのことであった。筋性防御を伴わないと考える。採血データWBC:12.1、CRP:<0.3 [mg/dL]、LDH:178 [IU/L]（翌日）、急性腹症精査の目的にて造影CT（2相）施行。動脈相にてSMA起始部より約5cm末梢部分に血栓による閉

塞を認めた（図3）。明らかな腸管への血流低下と判断され、血管造影およびIVRの適応となつた。4FrのシェファードフックタイプカテーテルをSMAの起始部に掛けDSAを施行。SMAの起始部に解離のEntryと思われる囊状突起を認め、SMA本幹および小腸枝まで血栓を思わせる広範な造影不良域が見られた。右結腸動脈の描出は良好で、回結腸動脈へは右結腸動脈からの血流が主立っていた（図4）。カテーテルから血栓吸引を行い、上腸間膜動脈本幹から血栓溶解剤（ウロキナーゼ）を6万単位動注した。その後DSAにて真腔の確保と虚血の開存を確認し終了した（図5）。IVRによる治療は腸管壊死が始まっていないことが前提となるため、発症から6時間以内が目安となる。術後のCTでは術前に閉塞させていた血栓が消え、血流が再開していることが確認できた（図6）。術後の経過は良好。

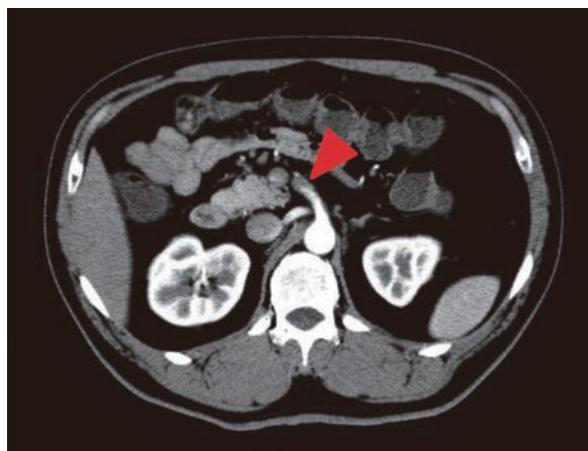


図3 治療前造影CT動脈相。SMA起始部付近に血栓と思われる造影不良域を認める。

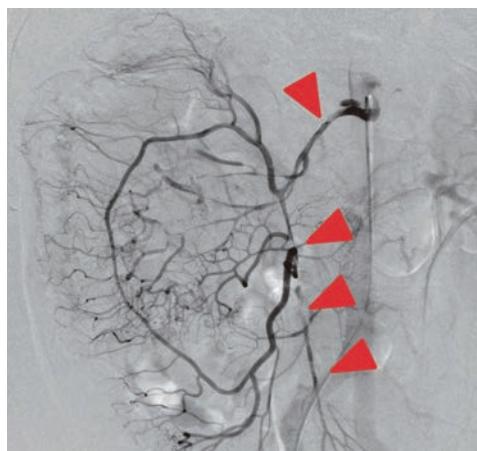


図4 治療前血管造影。SMA本幹および小腸枝まで血栓を思わせる広範な造影不良域を認める。



図5 治療後血管造影。真腔の確保と虚血の開存を確認。

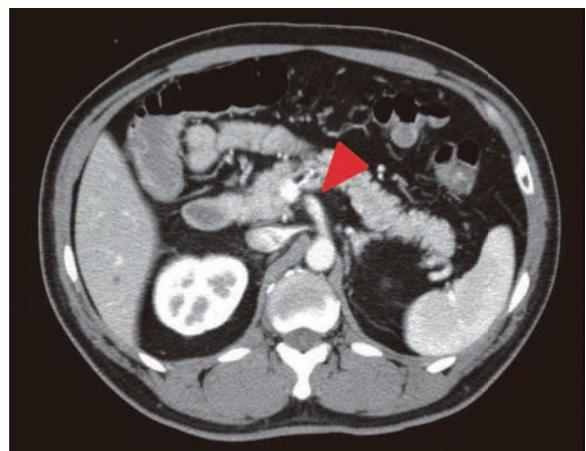


図6 治療後造影CT早期相。術前に閉塞させていた血栓が消え、血流が再開している。

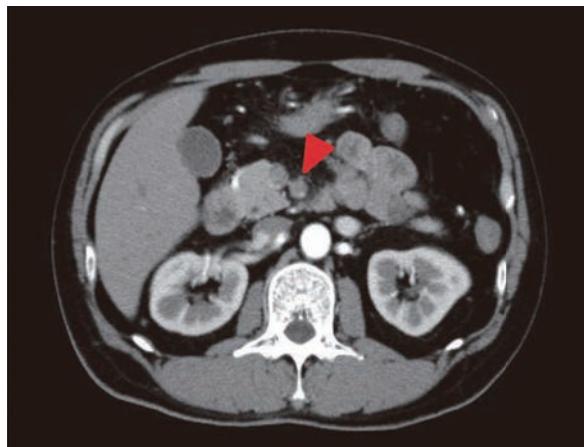


図7 造影CT動脈相。SMA起始部より約7cm末梢に血栓を認めた。

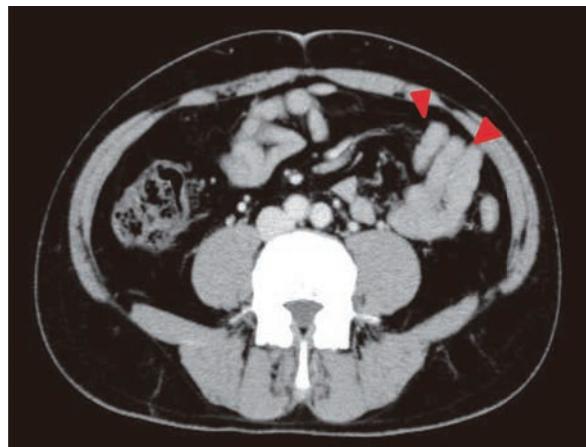


図8 造影CT遅延相。腸管に造影効果を認める。

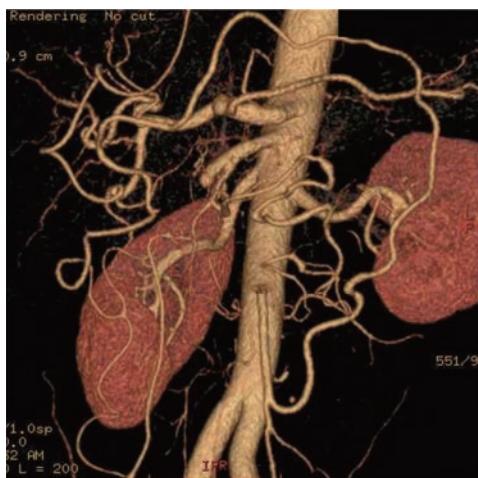


図9 動脈相血管3D。SMAに閉塞が見られるが、腹腔動脈や下腸間膜動脈等からの側副血行路発達が認められる。

〈Case2〉 47歳男性、毎食後の腹痛・下痢、まれに嘔吐を主訴に当院外来に受診。受診時の症状は特になし。腹部触診所見も正常であった。既往は脂質異常・高血圧。腹痛精査および腹部大動脈瘤精査目的にて造影CT検査を施行した。動脈相にてSMA起始部より約7cm末梢に血栓を認めた(図7)。しかしながら遅延相において腸管への血流が担保されていることが分かる(図8)。これは慢性的なSMA近位部の閉塞のため側副血行路が発達し、腸管への血流が担保されていることを示していて、このことは3D画像や症状からみても明らかであった(図9)。毎食後の腹部症状の原因としては、上腸間膜動脈血栓症併発の腹部アンギーナ(平常時は側副血行路によって腸管の

血流が担保されているが、摂食によって腸管の蠕動が活発になったことにより血流が不足)との結論に至った。よってこの患者に対しては侵襲的な治療を行わず、抗血小板薬処方により経過観察となった。このようにSMA近位での閉塞の場合、病態の進行の速さ、ひいては側副血行路の発達の度合いによって腸管の虚血性変化もさまざまであり、治療方針が大きく異なることに十分注意する必要がある。

## 8 結語

腹痛症状は救急外来患者によくある訴えであり、多くの場合すぐに改善するが、緊急治療が必要な疾患も少なからず存在する。そのような疾患を早急に処置するために画像を一番初めに“診る”者として診療放射線技師の責任は大きい。身体所見や症状・血液データなどから画像検査に必要な情報を確認し、撮影された画像から次の方針を読む能力が求められると考える。

## 引用文献

- 1) Scott R.Votey(著)、軍神正隆、他(監訳)：救急科診療マニュアル、2010
- 2) 阿南英明(著)：救急実践アドバンス—解剖・生理・病態から治療まで—、2012
- 3) 岡本英明、他(著)：胸・腹部救急疾患のIVR、血栓症—特に急性上腸間膜動脈閉塞症を中心に。臨床画像15：24、1995

# こえ

## 第72回日暮里塾ワンコインセミナー「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」に参加して

日本医科大学多摩永山病院 斎藤 淳

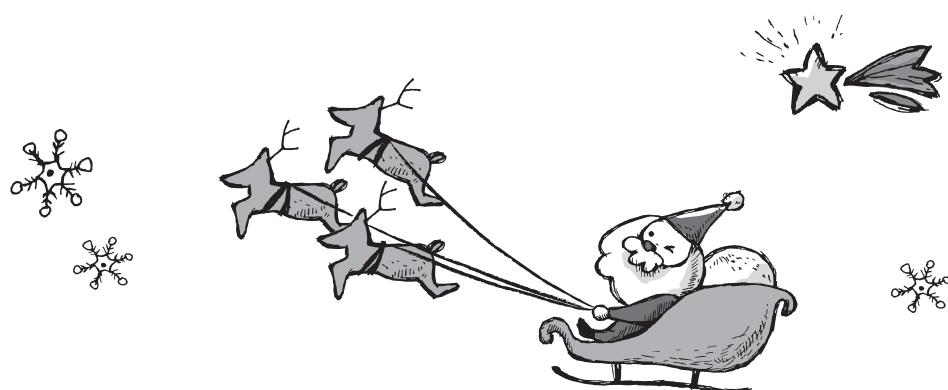
平成29年9月末に東京都診療放射線技師会研修センターで開催された、第72回日暮里塾ワンコインセミナー「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」に参加させていただきました。セミナーのテーマとしては、あまり見かけない分野ですが分かりやすくご講義いただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

講義の内容は、骨密度測定法の原理や測定したBMDの診断基準、骨折リスクについてとその評価に適した測定部位といった、検査の根幹となる理論を中心とした内容でした。

当院では大腿骨と腰椎の測定を行っていますが、中には腰椎圧迫骨折などの治療のために金属性インプラントを埋めており、大腿骨のみでの測定になる方がいらっしゃいます。私は、もともと椎体に問題を抱えていて受診している患者さんなのに、椎体の測定を全くしなくて評価できるのかという疑問を

持っていました。今回の講義で大腿骨BMDは大腿骨骨折のみならず、椎体骨折をはじめあらゆる骨折の予測に優れているというお話を聞くことができ、その疑問を解決することができました。また当院ではたまにしかDEXAを担当することができない診療放射線技師も多くいるので、今回学んだ理論を共有し部署内の検査の精度、および再現性の向上に活かしていきたいと思います。

セミナーの最後の質疑応答では多くの方から質問があり、それらに対する講師の野中先生の回答には当院でも当てはまるような内容のものも多くあり非常に参考になりました。このように他院での検査方法や取り決めなどの情報を聞くことができるるのは、勉強会に参加する大きなメリットのひとつだと思います。常に正しい根拠を持って検査ができる診療放射線技師になれるよう、積極的に勉強会やセミナーに参加していきたいと思います。



## 神田明神イベントに参加して

亀田総合病院 秋田裕介

寒暖差の厳しい今秋、小雨降る10月15日に神田明神にて一般イベント『みんなで健康美DAY～神田明神で健康美奉納～』が開催されました。

同イベントは、「医薬健康の神様えびす様が祀られている神田明神で、健康・美容・暮らしをテーマにした様々なジャンルの健康美を知り、体験できる」というコンセプトのもと実現した新しい形のイベントです。当日はステージでの特別企画のほか、さまざまな美容健康に関する出展ブースが並んでおり、われわれは首都圏消化器画像技術研究会（以下、M☆GIT：エムジット）として、東京都診療放射線技師会後援のもと出展させていただきました。

M☆GITは大腸CT検査を中心に、画像診断の発展に寄与することを目的として組織された研究会です。研究会としても一般向けイベントへの参加は初の試みでしたので、今回は大腸がんや乳がんなどの検診を、みて・聴いて・体感していただく企画を用意しました。当日は乳房ファントムを用いた触診コーナーや大腸CTの検査説明VTR、炭酸ガス送気装置や検査食の展示などを中心に、診療放射線技師が直接説明・相談する形式をとり、広く一般の方々に啓発活動ができたと感じております。

われわれは大腸がんで亡くなる方が1人でも減るよう、またなるべく早期段階でがんを発見できるよう、臨床業務はもちろんのこと、その検査精度や質の向上のために日々研究活動をしています。しかし、医師や診療放射線技師だけでなく、実際に受診していただきたい方にその検査の存在や体制が浸透しない限り、結局われわれの熱い想いは水泡に帰してしまいます。想いは口に出さなければ伝わりません。

時には視点を変えて、このような一般イベントへの参加が広く大衆に直接語りかけることのできる大きな一歩になると実感しました。まだまだわれわれができるることはたくさんあると信じています。

また、“大腸CT検査はどこで受けられる？”や“検査食は試食できる？”, “検査はこの場で受けられる？”など、多くの質問をいただきました。一部は準備不足もあり対応できませんでしたが、これらは次回以降の企画にインスピレーションを与える、いいきっかけとなりました。その際はぜひご賛同をお願い致します。

最後になりますが、今回イベントに出展された商品の中でも、特にわれわれの興味を引いたのが『TOMIE：トミエ』です。まるでコスメグッズのようにお洒落で、環境と人に優しいオールインワンクリーナー『TOMIE』。その魅力は何といっても身体に優しい唯一無二の万能洗剤であること！ 実際に美人社長が自ら実演されていたのですが、食器の茶済や銀製品や革製品の汚れだけでなく、壁の落書き、服のシミ、極めつけは肌に書かれた油性ペンまで、この『TOMIE』があれば全て楽々落ちてしまうのです！『まさかたった一つの洗剤で…』と思う方、安心してください。われわれもそう思っていました。しかしあの実演を見てしまったら…次の瞬間には皆が財布を握りしめ、販売ブースの前に行列を作っていました。

そんな衝撃の『TOMIE』。これから年末の大掃除や忘年会に向けて、皆さんもご家庭や自施設でぜひ試してみてはいかがでしょうか？きっと驚きの結果が待っていると思いますよ。



## 超音波スクリーニング研修講演会2017五反田

■会期：平成29年12月16日（土）午前9時55分～午後5時

※開場・受付開始：午前9時から

■会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）

※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分

<http://messe.toc.co.jp/access/>

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共催：日本総合健診医学学会／日本消化器がん検診学会

■後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／日本診療放射線技師会／東京都臨床検査技師会

東京都診療放射線技師会／神奈川県臨床検査技師会／神奈川県放射線技師会

### プログラム

#### テーマ：超音波所見を極める

時間	第一会場	第二会場
9:55	開会の辞 理事長 桑島 章	
10:00 ～ 10:45	■胆道 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：鳥海 修（関東中央病院）	
11:00 ～ 11:45	■腎臓 講師：関口隆三（東邦大学医療センター大橋病院） 司会：岩下和広（飯田市立病院）	ライブセミナー『肝臓』 講師：若杉 聰（千葉西総合病院） 司会：岩田好隆（東京女子医大東医療センター）
12:15 ～ 13:00	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） 司会：桑島 章（PL 東京健康管理センター）	
13:15 ～ 14:00	■所見のとり方 講師：関根智紀（総合病院 国保旭中央病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）	
14:15 ～ 15:00	■乳腺 講師：何森亜由美（高松平和病院） 司会：高田悦雄（那須赤十字病院）	ライブセミナー『胆道・脾臓』 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：谷田部真由美
15:15 ～ 16:00	■肝臓 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） 司会：矢島晴美（東京都予防医学協会）	
16:15 ～ 17:00	■脾臓 講師：小川眞広（日本大学病院） 司会：伊藤正範（新宿健診プラザ）	
17:00	閉会の辞 副理事長 岡庭信司	

※超音波検査士更新5点が付与されます。

※ランチョンセミナー 昼食（1000食限定）を用意しています。

※超音波関連書籍の展示販売を行います。



■問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク

E-mail：[us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp](mailto:us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp)

ホームページ：<http://us-screening.kenkyuukai.jp/>

研修講演会ご案内QRコード

## 平成29年度 第2回関東Angio研究会（第4回ステップアップセミナー） 『救急領域における画像診断からIVR—症例提示から学ぼう—』

公益社団法人日本放射線技術学会 関東支部 関東Angio研究会

関東Angio研究会主催「第4回ステップアップセミナー」を平成30年1月6日（土）に開催します。

ステップアップセミナーは、血管撮影技術のより高度な専門性を学習する場として位置づけており、今回は『救急領域における画像診断からIVR—症例提示から学ぼう—』というテーマで講演会を企画しました。

救急医療に求められる安全かつ迅速な医療を実践するためには、救急疾患の特殊性を理解した上でIVRを施行する技術や知識が必要です。今回のセミナーでは、実際に救急の現場で活躍している経験豊富な診療放射線技師より、具体的な症例を提示していただきながら、その場で「対応すべき most, more」を分かりやすく解説していただきます。後半は、「救急領域におけるIVRの現状と最新の知見について」と題し、臨床の第一線でご活躍されている先生をお招きし講演していただきます。

救急領域におけるIVRの知識を深め、今後の臨床に活かしていただければ幸いです。奮ってご参加下さい。

なお、本セミナー参加者には、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師および日本救急撮影技師の認定ポイントが付与されます。

日 時：平成30年1月6日（土）13:00～17:10（12:30受付開始）  
会 場：栃木県済生会宇都宮病院 南棟2F みやのわホール 〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町911-1  
詳細は <http://www.saimiya.com/about/access.html> をご覧ください

募集定員：120名（先着順、定員になり次第募集を終了します）

参 加 費：日本放射線技術学会員2,000円 非会員3,000円（症例のテキスト代を含みます）

申込期間：平成29年11月6日（月）～

申込方法：関東Angio研究会ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>) よりお申し込みください。

プログラム：（予定）

	13:00～	開会式	関東Angio研究会 代表	坂本 肇
症例提示	13:10～13:30	急性期脳梗塞	老年病研究所附属病院	高橋 康之
	13:30～13:50	くも膜下出血	千葉県救急医療センター	今関 雅晴
	13:50～14:10	喀血	筑波メディカルセンター病院	石橋 智通
	14:10～14:20	休憩		
	14:20～14:40	急性心筋梗塞Ⅰ	千葉大学医学部附属病院	笠原 哲治
	14:40～15:00	急性心筋梗塞Ⅱ	横浜市立大学附属市民総合医療センター	坂野 智一
	15:00～15:20	肝細胞癌破裂	信州大学医学部附属病院	宮川 潤
	15:20～15:30	休憩		
	15:30～15:50	骨盤外傷	足利赤十字病院	新井 宏幸
	15:50～16:10	腹部の術後出血	栃木県済生会宇都宮病院	大築 慎一
	16:10～16:20	休憩		
特別講演	16:20～17:10	救急領域におけるIVRの現状と最新の知見について	獨協医科大学病院 放射線科学内教授	塩山 靖和 先生
	17:10～17:20	閉会式		

そ の 他：詳細は、日本放射線技術学会関東支部 関東Angio研究会ホームページでご確認ください。

問い合わせ先：千葉県救急医療センター 検査部放射線科 今関 雅晴

※E-mail：[m.imzk@dj9.so-net.ne.jp](mailto:m.imzk@dj9.so-net.ne.jp) TEL：043-279-2211

後 援：茨城Angio研究会、茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、神奈川アンギオ撮影研究会、神奈川カテーテル室コメディカル研究会、埼玉心血管コメディカル研究会、循環器画像技術研究会、千葉アンギオ技術研究会、栃木県カテーテル室スタッフ研究会（五十音順）

# News

## 12月号

日 時：平成29年10月5日（木）  
午後6時45分～午後7時45分  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所  
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、鈴木雄一、  
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、  
江田哲男、長谷川雅一、高野修彰、安宅里美、  
齊藤謙一、竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、  
市川篤志、崎浜秀幸、工藤年男  
出席監事：葛西一隆  
指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、渡辺靖志（SR推進（災害・公益）委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）  
欠席理事：原子 満（議事終了後から参加）  
議 長：篠原健一（会長）  
司 会：白木 尚（副会長）  
議事録作成：新川翔太（総務委員）

### 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

### 理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

### 会長挨拶

第33回日本診療放射線技師学術大会および第24回東アジア学術交流大会が無事に終了した。秋はイベントが多く、10月、11月は行政まつりなど広報活動も予定されている。12月19日には東京都の立ち入り検査が決定した。総務委員会、経理委員会を中心に皆さまのご協力をお願いしたい。また、来年度の定期総会から代議員制となるに当たり、選挙管理委員会が立ち上がった。今後もスケジュールに沿って準備を進めていくため、皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。

### 報告事項

#### 1) 会長

・活動報告書に追加なし。

#### 2) 副会長

白木副会長

・2019年の関東甲信越診療放射線技師学術大会の企画会議を9月に2回行い、学会サポート会社選定のためのヒアリングを行った。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

#### 3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

#### 4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

#### 5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

#### 6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

#### 7) その他・研修センター申請・事業報告

白木副会長：2017年度第1回全国会長会議について報告する。まずは中澤会長から二つの話があった。一つ目は、教育関係では現在70%が学士卒業となっている。新設校の予定として四年制大学は2018年に新潟医療福祉大学、2019年には順天堂大学、三年制専門学校の動きもあり2019年に静岡県で設立予定である。今後の展望として修士修了者を増加させていきたい。二つ目は、「千葉県の病院で臨床工学技士がエックス線業務を行っていた」という報道があったことや、柔道整復師が撮影業務ができるよう法改正を国会に提出するなど、診療放射線技師の独占業務が他職種に狙われています。診療放射線技師の職域を守るためにには政治の力も必要。JARTで災害支援放射線技師研修会を行う予定であり、各都道府県より1名選出してほしいとのことであった。永年勤続表彰に関しては、

各都道府県で認識の違いがあり、免許を取得してからの年数であるとの確認があった。また、被ばく低減施設認定に関して、認定施設を増加していきたい、今後は診療報酬にも影響を及ぼす可能性がある。統一講習会を今後も推進していくために、長崎県の医療監視で行われているチェック項目に統一講習会受講有無があるとの取り組みを模範として、他都道府県でも見習っていただき受講者を増加させていきたい。診療放射線学事典が発行され、JART経由で割引(著者割引20%)購入可能である。著者である金森先生が各都道府県に寄付され事務所にも保管した。

鈴木理事：来年度からの定期総会における代議員制に関して、選挙管理委員会が行われたため大久保委員長の報告を代理でお伝えする。決定事項として、12月の会誌に告示文を掲載予定である。立候補期間は12月1日から25日の17時00分までである。立候補は所属している各地区の委員長に報告をした後に行う。具体的な選挙の日程に関しては調整中である。代議員数は各地区30名に対して1名で、各地区的会員数は9月30日時点のものとして決定した。

竹安委員長：立候補者が地区委員長に報告せずに選挙管理委員会に立候補した場合はどうするのか？

鈴木委員長：地区委員長に報告しない場合は選挙管理委員会で立候補を認めない場合がある。

篠原会長：JARTの代議員制に準ずる形式で行うこととなる。

竹安委員長：その場合に明記はされていないのか？

鈴木委員長：明記はされていない。

野口委員長：事前に立候補者のリストは各地区委員長に連絡する予定である。

浅沼委員長：JARTの代議員制も事前に各都道府県会長に報告してから立候補している。立候補者が手続きに則るよう告示には各地区的メールアドレスを記載することになると思われる。

鈴木委員長：立候補者が定員数以下であれば、選挙を行わずに代議員となる。立候補期間が終了すると資格審査が行われる。選挙が実施される場合は2月末から3月中となると思われる。

千葉委員長：選挙が実施される場合は地区会員のみで行うのか？

鈴木委員長：立候補者が定数を超えた地区のみ会誌に掲載される。投票方法は選挙管理委員会が決定する。

## 議 事

### 1) 事業申請について

#### ①第75回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：学術教育が選んだ平成29年度発表演題

日 時：平成30年1月18日(木) 18時30分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

#### ②第10回MRI集中講習会

テーマ：第10回MRI集中講習会

日 時：平成30年2月3日(土) 14時00分～18時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

#### 2) 委員新任退任申請

・第9地区委員

退任 木下 秀記 (所属：愛誠病院)

・第9地区委員

新任 飯塚 雅子 (所属：東京武藏野病院)

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

鈴木理事：地区委員の新任退任変更申請に関しては、今後4月と10月の理事会で審議するという形に変更する。

#### 3) 後援名義申請

・首都圏消化器画像技術研究会(M☆GIT)より「みんなで健康美DAY」の出展に際して後援名義申請があつた。

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

#### 4) 新入退会について

9月：新入会15名、転出3名、退会4名

会費免除者：1名

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

## 地区質問、意見

・今回は質問、意見はなかった。

## 連絡事項

高野涉外委員長：10月2日に技師会から推薦した佐々総合病院の伊藤氏が東京都功労者表彰を受賞された。

鈴木総務委員長：役員研修会の日時が決定し、12月9日

の15時から行われる。場所は例年通り対岳荘である。

第1部では、まず白木副会長より2019年関東甲信越診療放射線技師学術大会の進捗状況についての報告の後、コニカミノルタジャパン株式会社の東村亨治氏に講演していただく。今後、役員研修会出欠のエクセルシートを送付し、11月の理事会を目途に最終

確認を行うのでご協力をお願いしたい。

第6地区高橋委員長：10月27日に東京都診療放射線技師会研修センターにおいて城北支部研修会を開催する。テーマは「医療現場における子どもとの関わり方について」である。奮ってのご参加をお願いしたい。

第8地区鎌田委員長：10月14日に城南支部研修会を開催する。高齢化による認知症に関するテーマとなっている。奮ってのご参加をお願いしたい。

篠原会長：平成30年1月号会誌掲載予定の新春座談会を東京都診療放射線技師会研修センターで行う予定である。日時は11月7日(火)である。今年は今後の技師会を担っていく30から40歳前後の方を各支部から1名ずつ推薦していただきたい。詳細は追って連絡する。

野口庶務委員長：業務拡大に伴う統一講習会を11月11・12日に三鷹産業プラザで行う予定であるが、申し込みが少ない状況である。理事、各地区委員長、地区委員および職場に周知の上、奮ってのご参加をお願いしたい。

市川学術教育委員長：第73・74回日暮里塾ワンコインセミナーを東京都診療放射線技師会研修センターにおいて、一般撮影のポジショニングをテーマとして実習形式で行う予定である。各セミナーともに30名限定とし、事前登録者のみの参加とさせていただきたい。また、第75回日暮里塾ワンコインセミナーに関して、昨年同様に発表者に関しては各地区から連絡を取っていただきたい。学術教育委員会の事業に関して上半期分を取りまとめた。本年度の第60回か

らの参加人数は延べ664名となっている。秋季の第69回から6回のセミナーの参加目標人数を300名としていたが、347名のご参加をいただいた。ご協力に感謝申し上げたい。各地区の会員数に対する参加率を比較すると、昨年に引き続き第5地区が最も高くなっている。昨年からの変動としては第11、12地区の参加率が高くなっている。参加率の低い地区に関しては、学術教育委員会でセミナーなどを開催するのでご連絡をいただきたい。今後ともご理解とご協力をお願いしたい。

#### その他

安宅情報委員長：現在使用されているTARTドメインメールアドレスに関して、渉外委員会と2019年関東甲信越診療放射線技師学術大会メンバー用を追加した。今後とも活用していただきたい。

#### 今後の予定について

鈴木総務委員長：12月19日に東京都の立ち入り検査が13時00分から17時30分まで行われる。その準備のため、12月12日あるいは13日から事務所を閉鎖する予定であり、会議などで事務所を使用したい場合はご相談させていただきたい。また中間監査が10月24日に行われるため、今後必要な書類などがある場合はご連絡する予定である。皆さまのご協力をお願いしたい。

以上

## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

### 平成29年度

#### 1. 学術研修会

☆第16回ウインターセミナー 平成30年1月27日(土)

#### 2. 生涯教育

第62回きめこまかな生涯教育 平成30年2月

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第75回日暮里塾ワンコインセミナー 平成30年1月18日(木)

#### 4. 集中講習会

第10回MRI集中講習会 平成30年2月3日(土)

#### ☆5. 支部研修会

城西支部研修会 平成30年2月7日(水)

多摩支部研修会

#### 6. 地区研修会

第11地区研修会 平成29年12月1日(金)

第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会 平成29年12月8日(金)

第12地区研修会 平成30年1月24日(水)

第15地区研修会 平成30年2月9日(金)

第8地区研修会 平成30年2月17日(土)

第5地区研修会 平成30年2月23日(金)

#### 7. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会 平成30年3月

#### 8. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

#### 関連団体

平成29年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年1月20日(土)～21日(日)

平成29年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年1月21日(日)、2月4日(日)

平成29年度第7回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年3月3日(土)～4日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# イエローーケーキ

## 父子登山

3月のとある平日、4ヶ月ほど前に息子と二人で登った丹沢の大山に再訪しました。今回は表参道からではなく、ヤビツ峠から登りました。前回に登った時は持参したバーナーが故障しており、山頂で暖かい食事がとれないという苦い経験をしたので、今回は温かい食事を山頂でとるための再挑戦を目的とした登山です。

前日に自宅周辺で雪がちらちらと舞っていたのですが、当日は予定通り出発しました。東名高速に乗り、少し走ると正面に丹沢山系が見えています。山はうっすらと雪化粧をしており、少々嫌な予感はしましたが、引き返すことなく現地に向かいました。

ヤビツ峠の駐車場に到着後、登り始めて15分くらいは積雪もなく調子良く登れていたのですが、その後標高が上がるにつれ徐々に雪が深くなり、いつの間にか息子の足首が隠れるほど雪深さになっていました。息子は疲れと寒さで歩けなくなってしまいましたが、前回の汚名を返上する目的で計画した登山だったので、途中であきらめて引き返すわけにもいかず、息子を担ぎ、途中お菓子を食べさせながら、だましだまし登りました。

コースは通常80分程度の道のりですが、この日は登頂までに2時間以上かかりました。

山頂に到着後、すぐにお湯を沸かして、カップスープと鍋焼きうどんを作りました。これで息子も喜んでくれると思いきや、残念ながらテンションは上がってくれませんでした。

食事が終わっても元気にならず、帰りも息子を担いで下山しました。コースの大半が雪道のため、登り以上に神経を使い2時間近くかかりましたが、転倒することなく下ることができました。5歳児、体重20キロを担いでの登り下りは良い運動を通り越し、まるで「修行」しているようでした。

寒い中に長時間いたので風邪でもひかせてしまったのではないかと心配しましたが、車に戻ると「おなかが空いた～」と元気になりホッとしました。息子のリクエストで帰宅途中に食べたアイスが、息子以上においしいと感じた（たぶん…）41才壮年おやじと息子の登山経験記でした。今後は今回の経験を踏まえ、事前準備や現場での状況判断など安全に楽しく登れたらと思います。

山登りは時に苦しいこともあります、それを乗り越えた人だけが味わえる達成感や山頂からの眺めと一緒に経験し、良い思い出になってくれれば嬉しいですね。

アウトドアに程よく熱を上げているおやじSw

# 平成29年 東京放射線 総目次

Vol.64 No.746~756

## 1月号 Vol.64 No.746

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	会長 篠原健一 4
会告1 新春のつどい	5
会告2 第9回MRI集中講習会	学術教育委員会 6
会告3 第62回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告4 平成28年度城西支部研修会	城西支部委員会 8
会告5 第15回ウインターセミナー	学術教育委員会 9
会告6 平成28年度第6回業務拡大に伴う統一講習会	10
会告7 第63回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員 12
会告8 第6地区研修会(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	第6地区・学術教育委員 13
会告9 平成28年度SR推進委員会研修会	SR推進委員会 14
お知らせ1 平成28年度第12地区研修会	第12地区委員会 15
お知らせ2 第16地区勉強会(TART・SART地区合同)	第16地区委員会 16
お知らせ3 平成28年度第8地区研修会	第8地区委員会 17
お知らせ4 平成28年度第9地区研修会	第9地区委員会 18
お知らせ5 平成28年度第5地区研修会	第5地区委員会 19
平成29年新春企画 新春座談会	20
平成27年度新人奨励賞 受賞報告	小平彩加 26
平成27年度新人奨励賞 受賞報告	土谷健人 33
連載	
こえ	
・平成28年度城南支部研修印象記	森川結菜 38
・中央区健康福祉まつりに参加して	田辺清菜 39
・中央区健康福祉まつりを振り返って	杉智子 39
・城北支部研修会に参加して	菅谷正範 40
・城北支部研修会を企画して	高橋克行 41
パイプライン	
・平成28年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会	42
平成28年1~11月期会員動向	45
平成28年度第8回 理事会報告	46

### Column & Information

・イエローケーキ	45
・学術講演会・研修会等の開催予定	44
・求人情報	51
・研修会等申込書	50

## 2月号 Vol.64 No.747

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 会員のメリット	副会長 白木 尚 4
会告1 平成28年度城西支部研修会	城西支部委員会 5
会告2 第15回ウインターセミナー	学術教育委員会 6
会告3 第63回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告4 平成28年度第7回業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 第6地区meeting(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	第6地区・学術教育委員 10
会告6 第19回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会 11
会告7 平成28年度SR推進委員会研修会	SR推進委員会 12

会告8 第59回きめこまか生涯教育

学術教育委員会 13

お知らせ1 第16地区勉強会(TART・SART地区合同)

第16地区委員会 14

お知らせ2 平成28年度第8地区研修会

第8地区委員会 15

お知らせ3 平成28年度第9地区研修会

第9地区委員会 16

お知らせ4 平成28年度第5地区研修会

第5地区委員会 17

お知らせ5 公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款改正案に関する意見募集

18

お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内

情報委員会 19

東京都功労者表彰

20

叙勲 瑞宝双光章

22

平成27年度新人奨励賞 受賞報告

山田美彩子 24

平成27年度学術奨励賞 受賞報告

竹安直行 29

こえ

・第58回きめこまか生涯教育 印象記

加藤 葵 33

・OTAフェスタ感想文

大杉英治 34

・OTAふれあいフェスタ体験記

勝山紗希 34

・OTAフェスタに参加して

中西雄一 35

・おとな時間in早稲田の杜に参加して

牛川多恵、龍尾香朱美 36

・市民健康のつどいに参加して

大月智絵 37

パイプライン

・超音波画像研究会 第248回定期会、レベルアップセミナー

38

平成28年1~12月期会員動向

39

平成28年度第9回理事会報告

40

### Column & Information

・求人情報

33

・イエローケーキ

39、42

・学術講演会・研修会等の開催予定

43

・お詫びと訂正

43

## 3月号 Vol.64 No.748

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 不如楽之者(これを楽しむものに如かず)	会長 篠原健一 4
会告1 第6地区meeting(第64回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	第6地区・学術教育委員 5
会告2 第19回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会 6
会告3 平成28年度SR推進委員会研修会	SR推進委員会 7
会告4 第59回きめこまか生涯教育	学術教育委員会 8
会告5 第68回定期会での表彰(勤続20年)について	渉外委員会 9
お知らせ1 平成28年度第5地区研修会	第5地区委員会 10
お知らせ2 平成28年度第1地区研修会	第1地区委員会 11
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 12
新連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	

第一部 急性腹症「虫垂炎」

市川篤志 13

こえ

・新春のつどいに参加して

池部翔子 17

・役員研修会潜入記

18

パイプライン

・平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会

20

・超音波画像研究会 レベルアップセミナー

22

平成28年度1月期会員動向

23

平成28年度第10回理事会報告

24

研修会等申込書

29

登録事項変更届

30

---

Column & Information

---

・会費納入のお願い	9
・学術講演会・研修会等の開催予定	28
・求人情報	31

4月号 Vol.64 No.749

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 「今とは違う」ということ	会長 篠原健一 4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会	5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成29年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第65・67回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	8
会告4 第60回きめこまかな生涯教育	10
会告5 第66回日暮里塾ワンコインセミナー	11
お知らせ1 東放技会員所属地区のご案内	12
報 告 ソウル特別市放射線士会(SRTA)との学術交流協定締結	13
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第一部 急性腹症「急性脾炎」	比内聖紀 14
パイプライン	
・第31回全国循環器撮影研究会 総会・学術研究発表会	19
・超音波画像研究会 第249・250回定期例会	20
・平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	21
・南関東FRT第3回研修会	22
・第33回日本診療放射線技師学術大会	23
平成28年度2月期会員動向	24
平成28年度第11回理事会報告	25
研修会等申込書	30
登録事項変更届	31

---

Column & Information

---

・求人情報	24
・学術講演会・研修会等の開催予定	28
・イエローケーキ	29
・「東京放射線」5月号のお知らせ	29

5月号 Vol.64 No.750

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 来たれ！若き息吹	副会長 石田秀樹 4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会開催について(募集通知)	5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成29年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第65・67回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	8
会告4 第60回きめこまかな生涯教育	10
会告5 第66回日暮里塾ワンコインセミナー	11
会告6 第15回ペイシメントケア学術大会	12
会告7 平成28年度学術奨励賞・新人奨励賞	14
お知らせ1 クリーンデー(中央区内一斉清掃活動)	第2地区委員会 15
お知らせ2 平成29年度第2地区研修会	第2地区委員会 16
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会資料	
・第1号議案 平成28年度事業報告(案)	18

I. 総括

II. 事業報告

III. 活動報告

IV. 活動報告(庶務概要)

・第2号議案 平成28年度決算報告(案)	35
平成28年度監査報告	44
・第3号議案 平成29年度事業計画(案)	45
I. 総括	
II. 定款に基づく本会の事業	
III. 委員会事業計画	
・第4号議案 平成29年度予算(案)	55
・第5号議案 定款改正(案)	57
代議員及び予備代議員選出規程	60

パイプライン

・第34回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内	61
・平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	62
・放射線同友会 第60回記念講演会	63
・超音波画像研究会 第250回定期例会	64
・南関東FRT第3回研修会	65
・第33回日本診療放射線技師学術大会	66
平成28年度3月期会員動向	67
平成28年度第12回理事会報告	68

---

Column & Information

---

・休載のお知らせ	3
・求人情報	15、67
・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会 準備委員・職員名簿	64
・学術講演会・研修会等の開催予定	71

6月号 Vol.64 No.751

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 3回目の定款改正に向けて	副会長 白木 尚 4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会	5
会告2 第15回ペイシメントケア学術大会	学術教育委員会 6
会告3 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	8
会告4 第66回日暮里塾ワンコインセミナー	情報委員会 10
会告5 第68回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 11
会告6 平成29年度城東支部研修会	城東支部委員会 12
お知らせ1 平成29年度第2地区研修会	第2地区委員会 13
お知らせ2 平成29年度第4地区研修会	第4地区委員会 14
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 15
報 告 平成28年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 アンケート調査結果	厚生調査委員会 16
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第一部 急性腹症「尿路結石」	高橋優弥 22

こえ

・TART・SART地区合同 骨軟部撮影セミナー2017に参加して	柴崎了輔 26
・骨軟部撮影セミナーに参加して	松本 渉 27
・骨軟部セミナーに参加して	佐々木武弘 28
・第5地区研修会に参加して	小杉祐司 29

パイプライン

・平成29年度第1回関東Angio研究会	30
----------------------	----

・超音波画像研究会 第250回定例会	31
・第34回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内	32
・放射線同友会 第60回記念講演会	33
・南関東FRT第3回研修会	34
・第33回日本診療放射線技師学術大会	35
平成29年度4月期会員動向	36
平成29年度第1回理事会報告	37
研修会等申込書	41
登録事項変更届	42
<hr/> Column & Information <hr/>	
・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第68回定期総会 準備委員・職員名簿	27
・イエローケーキ	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	40
・「東京放射線」7・8月合併号のお知らせ	43
<b>7・8月合併号 Vol.64 No.752</b>	
診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 進みて名を求めず	会長 篠原健一 4
会告1 第68回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 平成29年度城東支部研修会	城東支部委員会 8
会告4 第69回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告5 第70回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 10
会告6 第16回サマーセミナー	学術教育委員会 11
会告7 第71回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 12
会告8 第72回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 13
会告9 第17回公益社団法人東京都診療放射線技師会	
公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術教育委員会 14
会告10 第16回城北支部研修会	城北支部委員会 15
お知らせ1 平成29年度第4地区研修会	第4地区委員会 16
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
叙 紫 瑞宝双光章	18
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第一部 急性腹症「胆石症」	岡本淳一 20
こ え	
・第6地区meetingに参加して	大塚竜登 24
・第6地区ミーティングに参加して	掛橋勇也 25
・平成28年度SR推進委員会（公益・災害）研修会に参加して	中村浩英 26
・ピンクリボンウォーク2017に参加して	内山秀彦 27
・第1地区研修会に参加して	長谷川絢香 28
編集ルポルタージュ	
筋肉スグルのビルアップ!! ~株式会社キタジマに潜入の巻~	筋肉スグル 29
パイプライン	
・平成29年度第1回関東Angio研究会	32
・超音波画像研究会 第250回定例会	33
・南関東FRT第3回研修会	34
・第33回日本診療放射線技師学術大会	35
平成29年度5月期会員動向	36
平成29年度第2回理事会報告	37
研修会等申込書	41
登録事項変更届	42

<hr/> Column & Information <hr/>	
・イエローケーキ	36
・学術講演会・研修会等の開催予定	40
<b>9月号 Vol.64 No.753</b>	
診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 人工知能は人間を支配する?	副会長 白木 尚 4
会告1 第16回サマーセミナー	学術教育委員会 5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 第71回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 8
会告4 第72回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告5 第17回公益社団法人東京都診療放射線技師会	
公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術教育委員会 10
会告6 平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	11
会告7 第16回城北支部研修会	城北支部委員会 12
会告8 第61回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 13
お知らせ1 平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会 14
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 15
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第一部 急性腹症「消化管穿孔」	野中孝志 16
こ え	
・平成29年度フレッシャーズセミナー印象記	須田真帆 20
・フレッシャーズセミナーに参加して	岩崎貴大 21
・平成29年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に参加して	伊藤佳奈恵 22
・中央区クリーンデーに参加して	藤井脩平 23
・中央区クリーンデーに参加して	永峯侑菜 23
パイプライン	
・超音波画像研究会 第251回定例会・第14回ワンパイゾー講習会（腹部超音波実技講習会）	24
・第33回日本診療放射線技師学術大会	25
・第17回合同学術講演会	26
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田	27
平成29年度6月期会員動向	28
平成29年度第3・4回理事会報告	29
研修会等申込書	35
<hr/> Column & Information <hr/>	
・イエローケーキ	28
・学術講演会・研修会等の開催予定	34
<b>10月号 Vol.64 No.754</b>	
診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 進歩とは	会長 篠原健一 4
会告1 平成29年度城南支部研修会	城南支部委員会 5
会告2 第16回城北支部研修会	城北支部委員会 6
会告3 第61回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 7
会告4 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動	
<荒川クリーンエイド2017@北区 荒川岩淵閑緑地>	8
会告5 第73回・74回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告6 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	10
会告7 第20回メディカルマネジメント研修会	SR推進委員会 12
会告8 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	渉外委員会 13

お知らせ1	平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会	14
お知らせ2	平成29年度第3地区研修会	第3地区委員会	15
お知らせ3	平成29年度第11地区研修会	第11地区委員会	16
お知らせ4	ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	17	
厚生労働大臣表彰			18
第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)			20
平成28年度 特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞受賞者			31
こえ			
・第2地区研修会に参加して	叶 将也		32
・第2地区研修会を振り返って	杉 智子		33
・平成29年度城東支部研修会に参加して	田川雅人		34
・城東支部研修会に参加して	長坂 純		35
・平成29年度城東支部研修会に参加して	茂木大哉		36
・平成29年度城東支部研修会に参加して	藤井脩平		37
第78回公益社団法人日本診療放射線技師会定期総会報告	代議員 白木 尚		38
パイプライン			
・超音波画像研究会 第14回ワンパイツー講習会(腹部超音波実技講習会)			39
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田			40
研修会等申込書			42
登録事項変更届			43
平成29年度7・8月期会員動向			45

Column & Information

・東放技は積極的に参加します			11
・イエローケーキ			30
・学術講演会・研修会等の開催予定			41

## 11月号 Vol.64 No.755

診療放射線技師業務標準化宣言			1
診療放射線技師のための接遇規範			2
巻頭言 チェンジの時 来たり!	副会長 石田秀樹		4
会告1 第73回・74回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会		5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会			6
会告3 第20回メディカルマネジメント研修会	SR推進委員会		8
お知らせ1 平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会		9
お知らせ2 平成29年度第3地区研修会	第3地区委員会		10
お知らせ3 平成29年度第11地区研修会	第11地区委員会		11
お知らせ4 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について			12
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会		13
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～			

第一部 急性腹症「イレウス」 圓城寺純男 14

こえ			
・第69・70回日暮里ワンコインセミナーに参加して	本谷啓太		19
・第71回日暮里ワンコインセミナー印象記	圓城寺純至		19

編集ルポルタージュ

セイイチのそれいけリフトアップ!! ~ボーリング大会潜入記の巻~ 20

パイプライン			
・超音波画像研究会 第14回ワンパイツー講習会(腹部超音波実技講習会)・第252回定例会			22
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田			23
・平成29年度第2回関東Angio研究会(第4回ステップアップセミナー)			24
平成29年度9月期会員動向			25
平成29年度第5回理事会報告			26
研修会等申込書			30

登録事項変更届			31
---------	--	--	----

Column & Information

・東放技は積極的に参加します			7
・学術講演会・研修会等の開催予定			29

## 12月号 Vol.64 No.756

診療放射線技師のための接遇規範			2
巻頭言 職能ナショナリズムとの攻防	会長 篠原健一		3
告示1 平成30・31年度代議員選挙の立候補受付について			4
会告1 「新春のつどい」のご案内			8
会告2 第75回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会		9
会告3 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会			10
会告4 第16回ウインターミニセミナー	学術教育委員会		11
会告5 第10回MRI集中講習会	学術教育委員会		12
会告6 平成29年度城西支部研修会	城西支部委員会		13
お知らせ1 平成29年度第12地区研修会	第12地区委員会		14
お知らせ2 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について			15
平成29年度 東京都功労者表彰			16
平成28年度学術奨励賞 受賞報告	鳥居 純		18
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～			

第二部 血管系「上腸間膜動脈閉塞症」 岡本淳一 23

こえ			
・第72回日暮里塾ワンコインセミナー「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」に参加して	齋藤 淳		27
・神田明神イベントに参加して	秋田裕介		28

パイプライン			
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田			29
・平成29年度第2回関東Angio研究会(第4回ステップアップセミナー)			30
平成29年度第6回理事会報告			31
平成29年東京放射線総目次			36
会費減額制度のお知らせ			40
研修会等申込書			42
登録事項変更届			43
平成29年度10月期会員動向			45

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定			34
・イエローケーキ			35

# 会費減額制度のお知らせ

公益社団法人東京都診療放射線技師会の「会費減額」制度をお知らせ致します。

本制度は本会「会費に関する規程 第9条（会費減額）」に基づき、規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし年会費優遇の特典を設けております。

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民ならびに社会のために継続して役立てていただくことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

※ 会誌巻末または本会ホームページからダウンロードの会費減額処置申請書（様式6）に、必要事項を明記のうえ、FAXまたはメールにて本会事務所まで届出ください。

## 公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程

（第9条抜粋）

### （会費減額）

第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。

- (1) 60才以上の会員
- (2) 10ヶ年以上会員として在籍し、会費の完納者
- 2 当該年度の前年末までに所定の申請を行い〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
- 3 会費減免対象者の会費は以下のとおりとする。

(1) 60才以上～70才未満	年額	7,000円
(2) 70才以上	年額	3,000円
- 4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。
  - (1) この法人で行う啓発、教育活動を担える者として待遇する

## 会費減額処置申請書

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

会員番号				
氏名	印			
氏名(カタカ)				
氏名(英語)				
性別	男性・女性			
生年月日	昭和 年 月 日 生			
メールアドレス				
勤務先	勤務先名	部署		
	勤務先所在地	〒 -		
	電話			
自宅	現住所	〒 -		
	電話			
問い合わせ先	勤務先・自宅			
備考				

私は、会費に関する規程第9条により会費減額処置を申請いたします。

平成 年 月 日

技師会曆	昭和	年入会(	年間)
受付	平成	年 月 日	
理事会承認	平成	年 月 日	印
減額処置通知	平成	年 月 日	印

# 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

**FAX 03-3806-7724**  
**公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所**

## 登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号	
氏名	印
氏名(カタカ)	
性別	男性・女性
生年月日	昭和 年 月 日 平成 年 月 日
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)
------------

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 -
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 -
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付  
確認平成 年 月 日  
平成 年 月 日 印

# Postscript

今年も師走になり、診療放射線技師も走り回るくらい忙しい時期を迎えました(実状は、12月に限らず一年中走り回っている忙しい職場がほとんどだと思いますが…。)。今年の私の個人的なトピックを記させていただきます。

六月にちょっとしたきっかけがあり、インドネシアという国に縁ができる、渡航する機会がありました。

大学生の息子が授業で選択したインドネシア語に興味が湧いて、協定校になっているインドネシアの大学に語学留学をしたい、と言い出したのがその事の発端でした。これまで、勉強のことで自分から前向きなことなど言ったことがなかったので、親とすれば何とも言えない感慨を覚えました。

留学したいとはいっても、具体的には何をすればいいのか戸惑うばかりの親を尻目に、本人は大学の協定校留学の申し込みや審査を済ませ、程なく「決まったよ」とあっさり留学を決めてきました。それから、大学の担当者のアドバイスをいただいて、昨年の7月からインドネシアの生活が始まりました。異国での一人暮らし、生活習慣や食事、そして何より水がミネラルウォーター以外は身体に入れてはいけない、という制約の中で徐々に現地の生活に慣れていたようでした(時折妻には弱音を吐いていたようでした)。

今年のお正月に二週間ほどの一時帰国をしましたが、息子は7月の帰国までの一年間をインドネシアで過ごしました。

前置きが長くなりましたが、私は、息子の留学の終了に合わせて、現地の引き払いのためと、折角の機会でもあるのでインドネシアへ行ってみました。

日本ではインドネシアというと、リゾート地として有名なバリ島やスカルノ元大統領第三

夫人のデヴィ・スカルノ夫人を思い浮かべますが、私は首都ジャカルタから陸路で3時間のバンドンというジャワ島第二の都市に行きました。東南アジアの赤道に近い気候なので、昼間はかなりの暑さになりますが、朝晩は過ごしやすい気温になり、気候面での不都合はありませんでした。

また、バンドンという都市は、中心部は近代的な賑やかさがあるのですが、少し郊外に離れると自然がたくさん残っていて、南国の気分も味わえる、のどかさもある所でした。

私はこの旅行で、チャンスがあればインドネシアの病院、特に放射線部門を見学してみたいと思っていました。たまたま息子の通っていた大学からすぐのところに総合病院があり、飛び込みで見学のお願いをしてみました。私のつたない片言の英語に丁寧に対応してくれた受付の女性、心よく案内をしてくれた技師の方のおかげでインドネシアの放射線部門の現状を目にすることができました。

あらためてですが、インドネシアの公用語はインドネシア語なのですが、病院のスタッフの方々は英語も普通に話せるとのことでした。見習わなければいけないな、と感じました。

今回の旅行は、一年間の語学留学を終えた息子と一緒にだったので、現地で困ることは全くありませんでした。親ばかですが、専用の現地ガイドに付き添ってもらっている感じで、それ程、一年で現地の言葉をマスターし、生活に適応できている姿を目にすることができました。大きく成長した息子と二人の旅行。とても有意義な6日間を過ごすことができました。来年も印象に残る出来事が多くありますように。皆様も佳い新年をお迎えください。

〈tenai〉

## ■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)  
東芝メディカルシステムズ(株)  
富士フイルムメディカル(株)

## 東京放射線 第64巻 第11号

平成29年11月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成29年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 http://www.tart.jp/

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

## 編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃

# 会員動向

平成29年度10月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年度末集計	2,077	205	22	16	174
平成29年 4月	2,101	31	3	3	7
平成29年 5月	2,116	18	3	2	4
平成29年 6月	2,142	29	1	1	3
平成29年 7月	2,156	14	1	0	1
平成29年 8月	2,175	18	3	0	2
平成29年 9月	2,183	15	0	3	4
平成29年10月	2,195	15	0	0	3

**TOSHIBA  
MEDICAL**

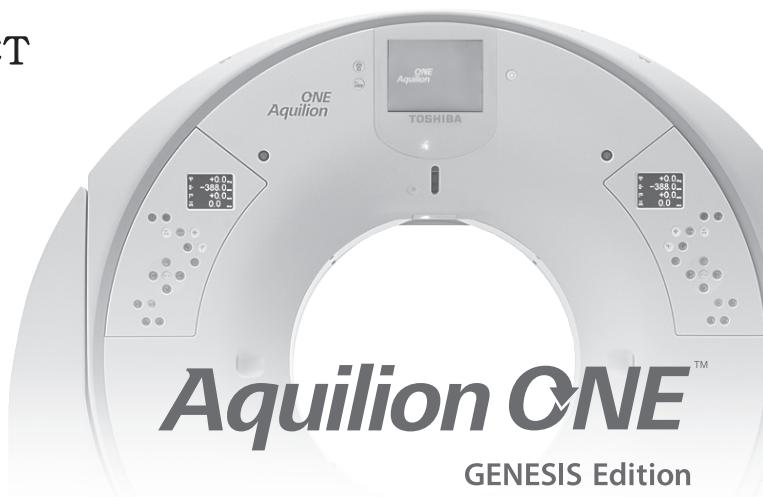
Aquilion ONE は、Aquilion ONEを超える、生まれ変わる。

## 新世代320列Area Detector CT

さらに低被ばく、高画質なADCTへ  
**Genesis of Image Quality**

さらに速く、使いやすいADCTへ  
**Streamlined Workflow**

より美しく、洗練されたADCTへ  
**Patient Centric Design**



**東芝メディカルシステムズ株式会社**

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地  
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

**GENESIS Edition**

認証番号:227ADBZX00178000 東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-305A